



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和3年12月7日(火)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

第73回人権週間 12月4日(土)～12月10日(金)

尾倉中学校のみなさん、こんにちは。担任の先生から聞いています。毎年、12月4日から10日までの1週間は、「人権週間」といって、人が生まれながらにもっている権利についてしっかりと考える期間になっています。そして、12月10日は世界人権デーです。世界中の人が人権について考える日になっています。「人権週間」は世界共通で、今年で、73回目になります。「人権週間」を簡単に言えば、みなさん一人一人が、人として大切にされているかを、いつもよりもっと気にして過ごす1週間ということになります。

人は、生まれながらに誰もが自由で平等で、一人一人、全ての人が必要な人です。だから、誰が偉くて、誰が偉くないとか、何かができるから偉くて、何かができないから偉くないなどと、人を差別するのは、許されないことです。尾倉中学校のみなさんはどうですか？人のいやがることを、したり言ったりしていませんか？自分と違うからと人をからかったり笑ったりしていませんか？人は一人一人違って当たり前です。誰一人として同じ人はいません。お互いを認め合い、相手の気持ちを大切にしましょう。

学校では、差別のことを「いじめ」と言います。先生は、いじめに打ち勝つには、みなさんのたくさんの「思いやりの気持ち」を集めることが大切だと思っています。「思いやりの気持ち」これは、人間にしかない温かくて素晴らしいものです。

そのために大切なことは、「気付き、考え、行動する」ということです。「気付く」というのは、相手の気持ちに気付くこと、友達の痛み気付くことです。気付いたら、次に自分はどうすればよいかを考えること、そして最後に、行動することです。みなさんの全員が「気付き、考え、行動する」ことを忘れなければ、尾倉中学校は、「思いやりの気持ち」が一杯の素晴らしい学校になります。

最後に新型コロナウイルス感染のことを伝えます。日本各地で感染がやや収まっていますが、まだ油断はできません。前にも言いましたが、コロナウイルスのために戦っている人やコロナウイルスにかかってしまった人を絶対に差別しないでください。これからも力を合わせて戦うときです。絶対に仲間はずれをつくらないでください。

まだまだ不自由な学校生活が続くとは思いますが、みなさんで考え、行動し、その中でできることや楽しみを見つけてください。学校に通えることに感謝しながら、笑顔を忘れず、尾倉中学校全員で頑張りましょう。今日は人権週間における大事な話でした。

尾倉中学校の取組

- ① 期間 12月6日(月)～12月10日(金)
- ② 内容 (1) 「明日への伝言板」朝の時間を使っての放送

世界人権宣言とは